

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	948	水防経費	会計	01	一般会計
基本施策	15	自然災害への十分な備えをする	款	09	消防費
担当部課名		消防救急課	項	01	消防費
作成者氏名	豆本 弘文	連絡先	目	04	水防費
		24-9102	細目	101	水防経費
			細々目	01	水防経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 災害が発生又は、発生するおそれのある地域住民	成果(どうなるのか) 災害発生時に、備蓄資機材を活用して初動体制を確保し被害の軽減を図る。
本年度事業内容	ブルーシート、土のう袋、スコップ、掛矢、木杭、ロープ等を購入備蓄し、災害の発生に備える。	
根拠法令・要綱等	水防法	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	486	537	537
	消耗品費	486	537	537
	その他			
	合計(A+B)	1,206	1,257	1,257
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	1,206	1,257	1,257
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
ブルーシート	枚	100	120	120			
土のう袋	枚	3,000	2,500	2,500			
木杭	本	250	250	250			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
災害の発生は予測できないため、指標は設定できない			目標 ()		
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

大規模な災害が発生すれば資機材の不足が懸念されるが、事前に大量の資機材確保は予算的にも困難である。

評価	有効性	4	風水害等の災害発生に備えて、市民の生命・財産を守るために、資機材を整備することは災害の事前対策として大切なことである。 災害の初動体制を確保するための資機材を備蓄するため、今後も事業の継続が必要。	総合評価 A
	達成度	3		
	効率性	3		